

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	熊野町立熊野中学校	校長	坂口 直美	担当者名	平岡 健太郎
取組事例名		『伝統を守り，創造する』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり	
取組における育てたい資質・能力					
○主体性 ○責任感 ○リーダーシップ					
取組のねらい					
今年度は，体育祭，文化祭などのあらゆる行事が中止となり，活躍の場を失った生徒が多い。また，全校が一堂に会するという機会を作ることもできなかつたため，1年生にとっては先輩たちの姿を見て学ぶという機会が激減した。そんな中でも，上級生が先輩らしい姿を後輩らに示す機会をつくることで，良い伝統を引き継ぐとともに，責任感や有用感，自己肯定感を育むことをねらいとした。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>(1) 第18代「組曲」の発表 -10月30日(金) - 18年間受け継がれてきた「組曲」を今年度も発表した。「密集」を避けなければならない状況での練習と発表は，大変困難であったが，生徒らの前向きな姿勢と教職員の創意工夫により，成し遂げることができた。</p> <p>(2) 3年生クラスマッチの実施 - 11月27日(金) - 体育祭の中止を受け，実施することになった。企画・運営は，クラスマッチ実行委員会9名の生徒が中心で，種目やルールについても，生徒らが考えた。2週間程度の取組であったが，「より体育祭らしいもの」を目指して作り上げ，保護者にも生き生きとした姿を見ていただいた。</p> <p>(3) 規則の見直し - 9月28日(月)～10月9日(金) - 本校にはこれまで，衣替えの季節の「合い服」が存在しなかった。そこで，生活委員会と3年生の生徒らが意見を出し合い，「合い服のルール」をつくることにした。自分たちが過ごしやすいということだけでなく，統一感があり，印象が良く見えるのはどんな組み合わせかを考え，提案した。新たに，生徒指導規程に加わった。</p> <p>(4) 清掃見学 - 6月22日(月)～24日(水) - 本校では，数年前から「清掃」(見えないところまできれいにする)と「掃ベル」(清掃しながら始まりのベルを聞く)の2つに取り組んでいる。そこで，1年生による3年生の清掃見学を実施した。高いレベルの清掃を学んだ。</p>			<p>1年生と，1・2年生の保護者に対しては，本番の様子をリモートで中継した。</p> <p>生徒の主体性を尊重し，「コロナ禍でも安全に実施できる種目・ルール」を考えさせた。</p> <p>話合いだけでなく，『合い服』お試しの日」を設定。その日は，それぞれが考える制服の組み合わせで過ごし，意見交換をした。</p> <p>翌週には，3年生による1年生の清掃見学を実施。学んだことの成果を3年生に披露した。</p>		
取組の成果と課題					
<p>「組曲」とクラスマッチについては，保護者や地域からも開催を喜ぶ声や感動したという感想を多くいただいた。生徒らにとっては，「やり切った」「楽しかった」というだけでなく，「保護者や地域に喜んでもらえた」「頑張りが認められた」などの感想があり，一人一人にとって大きな励みになったようである。</p> <p>規則の見直しについては，生活委員長の「本当にこんなことができるんですね」という言葉が印象的であった。</p>					